

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条4の7第4項

**【提出先】** 北海道財務局長

**【提出日】** 平成27年10月5日

**【四半期会計期間】** 第44期第1四半期(自 平成26年8月1日 至 平成26年10月31日)

**【会社名】** 総合商研株式会社

**【英訳名】** SOUGOU SHOUKEN CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役会長 加藤 優

**【本店の所在の場所】** 札幌市東区東苗穂二条三丁目4番48号

**【電話番号】** 011(780)5677

**【事務連絡者氏名】** 企画管理本部部長 太田 健一

**【最寄りの連絡場所】** 札幌市東区東苗穂二条三丁目4番48号

**【電話番号】** 011(780)5677

**【事務連絡者氏名】** 企画管理本部部長 太田 健一

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年12月15日に提出いたしました第44期（自 平成26年8月1日 至 平成26年10月31日）に係る四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1)業績の状況

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(省略)

(訂正前)

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(商業印刷事業)

商業印刷事業においては、新規顧客のレギュラーチラシの獲得や既存顧客の受注増加により、当事業の売上高は2,728百万円（前年同四半期比188百万円増）となりました。また、外注費削減等のコスト管理の強化や組織体制の見直しを行ったことにより、営業利益は62百万円（前年同四半期の営業損失は34百万円）となりました。

(年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業においては、大口顧客向けの年賀状の納品が一部前倒しとなったため、当事業の売上高は1,761百万円（前年同四半期比390百万円増）となりました。その一方で、組織体制の変更による人員の増加及び販売促進費等の先行投資の増加により、営業損失は348百万円（前年同四半期の営業損失は346百万円）となりました。

(その他)

その他においては、北海道内の2店舗のプリントハウスにおいて、DPE、オンデマンドプリント等の商品・サービスの提供を行ってまいりましたが、売上高は9百万円（前年同四半期比0百万円増）、営業損失は4百万円（前年同四半期の営業損失は3百万円）となりました。

(訂正後)

(商業印刷事業)

商業印刷事業においては、新規顧客のレギュラーチラシの獲得や既存顧客の受注増加により、当事業の売上高は2,563百万円（前年同四半期比184百万円増）となりました。また、外注費削減等のコスト管理の強化や組織体制の見直しを行ったことにより、営業利益は117百万円（前年同四半期比30百万円増）となりました。

(年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業においては、大口顧客向けの年賀状の納品が一部前倒しとなったため、当事業の売上高は1,761百万円（前年同四半期比390百万円増）となりました。その一方で、組織体制の変更による人員の増加及び販売促進費等の先行投資の増加により、営業損失は398百万円（前年同四半期の営業損失は394百万円）となりました。

(ふりっば一事業)

ふりっば一事業におきましては、自社媒体「地域新聞ふりっば一」の営業に注力した結果、当事業の売上高は150百万円（前年同四半期比10百万円増）、営業損失は9百万円（前年同四半期の営業損失は37百万円）となりました。

(その他)

その他においては、北海道内の2店舗のプリントハウスにおいて、DPE、オンデマンドプリント等の商品・サービスの提供を行ってまいりましたが、売上高は23百万円（前年同四半期比6百万円減）、営業損失は8百万円（前年同四半期の営業損失は7百万円）となりました。

## 第4【経理の状況】

### 1【四半期連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年8月1日至平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
	商業印刷事業	年賀状印刷事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	<u>2,539,523</u>	<u>1,371,352</u>	<u>3,910,875</u>	<u>9,787</u>	<u>3,920,663</u>	—	<u>3,920,663</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	<u>5,544</u>	<u>368</u>	<u>5,913</u>	<u>1,095</u>	<u>7,008</u>	<u>△7,008</u>	—
計	<u>2,545,068</u>	<u>1,371,720</u>	<u>3,916,788</u>	<u>10,883</u>	<u>3,927,672</u>	<u>△7,008</u>	<u>3,920,663</u>
セグメント利益又は損失(△)	<u>△34,756</u>	<u>△346,758</u>	<u>△381,515</u>	<u>△3,506</u>	<u>△385,021</u>	<u>△70,314</u>	<u>△455,335</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△70,314千円には、セグメント間取引消去3,422千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△73,737千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年8月1日至平成26年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
	商業印刷事業	年賀状印刷事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,728,189	1,761,733	4,489,923	9,841	4,499,765	—	4,499,765
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,486	56	1,542	1,085	2,628	△2,628	—
計	2,729,676	1,761,790	4,491,466	10,927	4,502,394	△2,628	4,499,765
セグメント利益又は損失(△)	62,836	△348,278	△285,442	△4,082	△289,524	△92,912	△382,437

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△92,912千円には、セグメント間取引消去1,088千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△94,001千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(訂正後)

## Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自平成25年8月1日至平成25年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
	商業印刷事業	年賀状印刷事業	ふりっぱー事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,379,051	1,371,352	139,881	3,890,285	30,378	3,920,663	—	3,920,663
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,244	368	15,691	34,303	1,087	35,391	△35,391	—
計	2,397,296	1,371,720	155,572	3,924,588	31,466	3,956,055	△35,391	3,920,663
セグメント利益又は損失(△)	87,097	△394,585	△37,994	△345,482	△7,488	△352,970	△102,365	△455,335

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△102,365千円には、セグメント間取引消去3,422千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△105,787千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年8月1日至平成26年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注 3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	ふりっぱー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,563,880	1,761,733	150,527	4,476,141	23,623	4,499,765	—	4,499,765
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,566	56	16,270	32,894	1,081	33,975	△33,975	—
計	2,580,447	1,761,790	166,797	4,509,035	24,705	4,533,741	△33,975	4,499,765
セグメント利益 又は損失(△)	117,961	△398,837	△9,239	△290,114	△8,425	△298,539	△83,897	△382,437

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△83,897千円には、セグメント間取引消去1,088千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△84,985千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「商業印刷事業」に含まれていた「ふりっぱー事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。